平成24年（2012年）3月期
第２四半期決算説明会

（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

澁澤倉庫株式会社

平成23年11月15日

目次

Ⅰ．	平成24年3月期 第２四半期決算の概要	ページ
Ⅰ－１．	連結経営成績	3
Ⅰ－２．	個別経営成績	4
Ⅰ－３．	事業セグメント別営業収益	5
Ⅰ－４．	事業セグメント別営業利益	7
Ⅰ－５．	連結財政状態	8
Ⅰ－６．	連結貸借対照表	9
Ⅰ－７．	連結キャッシュ・フローの状況	11
Ⅱ．	平成24年3月期 通期業績予想他	
Ⅱ－１．	通期の連結業績予想	12
Ⅱ－２．	事業セグメント別営業収益（予想）	13
Ⅱ－３．	事業セグメント別営業利益（予想）	14
Ⅱ－４．	東日本大震災後の取組み	15
Ⅱ－５．	事業活動方針および中期経営計画の進捗	17
Ⅱ－６．	設備投資の状況（資金ベース）	23
Ⅱ－７．	配当の状況	24

Ⅰ－１．連結経営成績

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	前年同期比	
			金　額	比　率
営　業　収　益	27,489	27,643	154	0.6%
営　業　利　益	1,633	1,610	▲22	▲1.4%
営業外損益	▲115	▲176	▲60	－
経　常　利　益	1,517	1,434	▲83	▲5.5%
特別損益	▲813	10	823	－
法人税等	259	548	288	－
少数株主利益（▲損失）	33	20	▲12	－
四半期純利益	411	875	464	112.9%

営　業　収　益 営　業　利　益	物流事業においては、海外ネットワークの拡充や国内拠点の統廃合による合理化などを進めたほか、不動産事業においては、テナント満足度の向上および現有資産の付加価値増加に努め、ほぼ前年同期並み
経　常　利　益	資金調達費用の増加などにより減益
四半期純利益	投資有価証券評価損の減少や連結子会社における債務免除益の計上などにより増益

Ⅰ－２．個別経営成績

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	前年同期比	
			金　額	比　率
営　業　収　益	23,953	23,992	38	0.2%
営　業　利　益	1,460	1,493	32	2.3%
営業外損益	▲134	▲163	▲29	－
経　常　利　益	1,326	1,329	3	0.3%
特別損益	▲812	▲96	715	－
法人税等	216	512	296	－
四半期純利益	298	721	423	142.0%

Ⅰ－３．事業セグメント別営業収益①

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	前年同期比	
			金　額	比　率
物　流　事　業	23,925	24,205	280	1.2%
倉庫業務	4,785	4,615	▲169	▲3.5%
港湾運送業務	2,801	2,759	▲42	▲1.5%
陸上運送業務	13,533	13,946	412	3.1%
国際輸送業務	1,994	2,122	127	6.4%
その他の物流業務	810	762	▲48	▲6.0%
不動産事業	3,385	3,379	▲6	▲0.2%
そ　の　他	257	124	▲133	▲51.8%
計	27,568	27,709	140	0.5%
セグメント間の内部営業収益又は振替高	▲79	▲65	13	―
連結営業収益	27,489	27,643	154	0.6%

Ⅰ－３．事業セグメント別営業収益②

物流事業	倉庫業務	保管料収入は前年同期を上回ったものの、荷役料が減収となり減収
	港湾運送業務	輸入荷捌業務は増収となった一方、在来船貨物に係る船内荷役業務が減収となり減収
	陸上運送業務	海上コンテナ輸送を含めた輸配送業務の取扱いが伸長し増収
	国際輸送業務	海上一貫輸送の取扱いが減少したものの、航空貨物の取扱いが大きく伸び増収
不動産事業		施設改修に伴う賃貸料の減額が解消され増収要因となったものの、電力不足に対応した節電対策が付帯収入の減収要因となるなど前年同期並み

Ⅰ－４．事業セグメント別営業利益

（単位：百万円）

	前第２四半期	当第２四半期	前年同期比	
			金　額	比　率
物　流　事　業	983	948	▲35	▲3.6%
不動産事業	1,488	1,535	47	3.2%
そ　の　他	▲5	▲21	▲16	－
計	2,466	2,461	▲4	▲0.2%
調　整　額	▲832	▲851	▲18	－
連結営業利益	1,633	1,610	▲22	▲1.4%
営業利益率	5.9%	5.8%	▲0.1ﾎﾟｲﾝﾄ	－

物　流　事　業	収益増はあったものの、貨物取扱いの増加に伴う作業費の増加や実保管収入の減少などにより減益
不動産事業	収益は前年同期並みながら、節電対策による光熱動力費の減少などにより増益

Ⅰ－５．連結財政状態

（単位：百万円）

	前期末	当第２四半期末	前期末比
総　資　産	87,869	86,677	▲1,191
負　債	55,678	54,242	▲1,435
純　資　産	32,190	32,435	244
（うち少数株主持分）	(569)	(582)	(12)
自己資本比率	36.0%	36.7%	+0.7ﾎﾟｲﾝﾄ
1株当たり純資産	415.85円	418.91円	3.06円

総　資　産	減価償却による建物及び構築物の減少、および一部土地の売却等により減少
負　債	長期借入金が増加した一方で事業分離に伴い預り金の返還等を行ったことで減少
純　資　産	その他有価証券評価差額金の減少等があったものの、当連結累計期間における四半期純利益の計上により増加

Ⅰ－６．連結貸借対照表①

（単位：百万円）

	前期末	当第２四半期末	前期末比
流動資産	22,367	23,696	1,329
受取手形及び取引先未収金	9,084	9,538	454
有価証券	3,200	4,153	953
固定資産	65,479	62,964	▲2,515
有形固定資産	54,076	52,342	▲1,733
建物及び構築物(純額)	32,241	31,219	▲1,021
土地	19,610	18,870	▲739
無形固定資産	710	699	▲11
投資その他の資産	10,692	9,922	▲770
投資有価証券	8,603	7,927	▲675
繰延資産	22	17	▲5
資 産 合 計	87,869	86,677	▲1,191

Ⅰ－６．連結貸借対照表②

（単位：百万円）

	前期末	当第２四半期末	前期末比
流動負債	21,769	13,576	▲8,192
短期借入金	8,579	5,673	▲2,906
固定負債	33,909	40,666	6,757
長期借入金	19,132	26,385	7,253
負 債 合 計	55,678	54,242	▲1,435
株主資本	31,122	31,768	646
利益剰余金	17,630	18,277	647
その他の包括利益累計額	498	83	▲415
その他有価証券評価差額金	1,175	770	▲404
少数株主持分	569	582	12
純 資 産 合 計	32,190	32,435	244
負債純資産合計	87,869	86,677	▲1,191

Ⅰ－７．連結キャッシュ・フローの状況

（単位：百万円）

	前第２四半期 累計期間	当第２四半期 累計期間	前年同期比
営業活動によるＣＦ	2,209	953	▲1,256
（内、減価償却費）	(1,404)	(1,320)	(▲83)
投資活動によるＣＦ	▲403	▲4,590	▲4,187
財務活動によるＣＦ	▲1,349	4,094	5,443
現金及び現金同等物の 四半期末残高	8,061	8,681	619

営業活動によるＣＦ	売上債権の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により増加
投資活動によるＣＦ	有形固定資産の取得による支出および事業整理による支出等があったため減少
財務活動によるＣＦ	長期借入金の約定返済および配当金の支払いがあったものの、長期借入による収入があったため増加
現金及び現金同等物の 四半期末残高	投資活動によるＣＦの減少があったが、営業活動によるＣＦおよび財務活動によるＣＦの増加により増加

Ⅱ－１．通期の連結業績予想

（単位：百万円）

	前期実績	上半期 (1Q･2Q) 実績	下半期 (3Q･4Q) 予想	当期予想	前期比	
					金　額	比　率
営業収益	53,227	27,643	26,056	53,700	472	0.9%
営業利益	2,905	1,610	1,329	2,940	34	1.2%
経常利益	2,584	1,434	1,095	2,530	▲54	▲2.1%
当期純利益	575	875	594	1,470	894	155.6%

営業収益	東日本大震災後の企業の生産活動が予測以上に早く回復したほか、緊急輸入貨物や代替ルートによる輸配送業務の取扱増もあり、増収を予想
営業利益	燃料油価格の高騰など不透明な部分はあるものの増益を予想
経常利益	資金調達費用の増加により減益を予想
当期純利益	前期にあったゴルフ場事業売却に伴う事業整理損失が解消することなどにより増益を予想

Ⅱ－２．事業セグメント別営業収益（予想）

（単位：百万円）

	前期実績	上半期（1Q･2Q）実績	下半期（3Q･4Q）予想	当期予想	前期比	
					金　額	比　率
物　流　事　業	46,107	24,200	22,640	46,840	732	1.6%
倉庫業務	9,115	4,615	4,164	8,780	▲335	▲3.7%
港湾運送業務	5,500	2,759	2,820	5,580	79	1.5%
陸上運送業務	26,128	13,940	12,719	26,660	531	2.0%
国際輸送業務	3,817	2,122	2,097	4,220	402	10.5%
その他の物流業務	1,545	762	837	1,600	54	3.5%
不動産事業	6,640	3,319	3,410	6,730	89	1.3%
そ　の　他	479	124	5	130	▲349	▲72.9%

※ セグメント別営業収益は「セグメント間の内部営業収益又は振替高」を含んでおりません。

Ⅱ－３．事業セグメント別営業利益（予想）

（単位：百万円）

	前期実績	上半期（1Q･2Q）実績	下半期（3Q･4Q）予想	当期予想	前期比	
					金　額	比　率
物　流　事　業	1,539	948	601	1,550	10	0.7%
不動産事業	3,002	1,535	1,474	3,010	7	0.3%
そ　の　他	▲19	▲21	1	▲20	▲0	－
計	4,521	2,461	2,078	4,540	18	0.4%
調　整　額	▲1,616	▲851	▲748	▲1,600	16	－
連結営業利益	2,905	1,610	1,329	2,940	34	1.2%
営業利益率	5.5%	5.8%	5.1%	5.5%	0.0ﾎﾟｲﾝﾄ	－

Ⅱ－４．東日本大震災後の取組み（１）

経営基盤の強化 －情報システムの危機管理対応－

神戸支店内にDRサイト構築
（Disaster Recovery Site）

東日本大震災を契機に、事業継続の観点から業務システム・管理システムのバックアップサーバーを神戸支店内に構築。

- ＊ **本年11月から稼働開始**
- ＊ **顧客データは1時間毎に更新**
- ＊ **本社地区災害時に短時間で復旧**

情報システムの危機管理強化へ

Ⅱ－４．東日本大震災後の取組み（２）

サプライチェーンの復旧へ向けて

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（１）

平成24年3月期においては、今年度を中間年度とする中期経営計画「SUCCESS 2012」を推進し、企業価値の向上と経営基盤の強化に努めてまいります。

- 物流事業では、収益力強化のため競争力強化・営業力強化の実行
- 不動産事業では、保有資産の付加価値増大に向けた有効活用策の展開
- 財務体質の改善、事業インフラの整備、人材育成を柱として、経営基盤の強化

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（２）

＜中期経営計画SUCCESS2012に掲げた物流事業戦略＞

① 大型物流センターを核とした物流一括受託業務の拡大

② 物流センター受託業務における付加価値向上

③ 既存の取扱商品・業務とシナジー効果を生む業務の拡大

④ 海外物流ネットワークの整備（中国・ベトナム）

⑤ ローコストオペレーションによる競争力強化

＜具体的な取り組み実績＞

１．日用雑貨業界の物流一括受託業務の取扱業務拡大

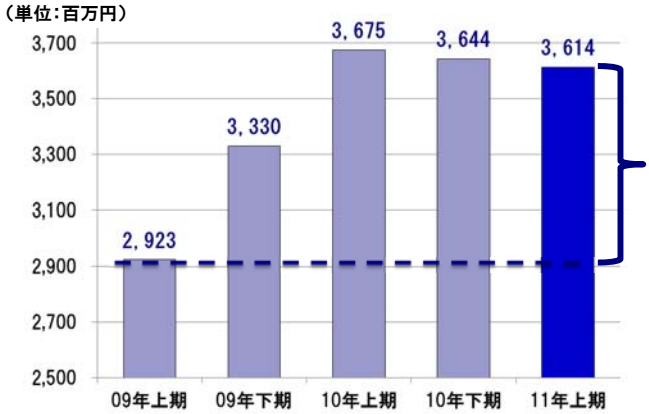
２．飲料業界の共同配送などによる取扱業務拡大

３．海外拠点の拡充による国際物流事業の業務拡大

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（３）

１．日用雑貨業界の物流一括受託業務の取扱業務拡大

当社の日用雑貨品取扱業務の収益推移



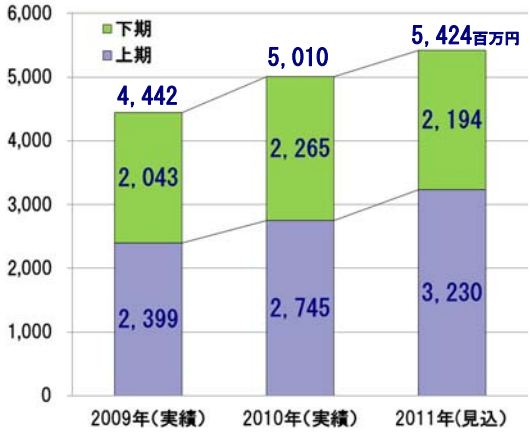
半期で約７億円
(+19%) 収益増加
（vs.　'09 年度上半期比）

- 日用雑貨の物流一括受託業務の新規獲得
- 大型拠点を活用した拠点集約による取扱増

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（４）

２．飲料業界の共同配送などによる取扱業務拡大

（単位：百万円）　**当社の飲料業界の取扱収益推移**



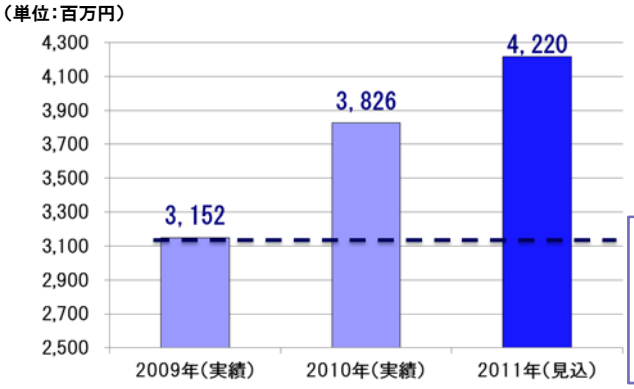
通期で約10億円
(+18%) 収益増加
（vs.　'09年度比）

- 複数メーカーの商品の共同配送業務の推進
- バイオ燃料の活用などによる環境配慮型輸送の拡大
- トレーラー化の推進

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（５）

３．海外拠点の拡充による国際物流事業の業務拡大

国際輸送業部門の業績推移（連結ベース）



通期で約10億円（+25%）収益増加

（vs. ‘09年度比）

- 中国、ベトナムなどの拠点拡充による業務拡大
- 国内物流業務と連携した一貫輸送業務の拡大
- 輸入航空貨物の取扱拡大

Ⅱ－５．事業活動方針および中期計経計画の進捗（６）

＜中期経営計画SUCCESS2012の今後の取組み＞

１．横浜（新子安）7,000坪・大阪（茨木）11,000坪の既存拠点の再開発を計画。研究施設など保管プラスアルファの複合的な施設を計画中。大型物流センターの拡充へ取組む。

２．2011年8月スポーツ用品の3PL業務を新規受託、2012年3月稼働予定の酒類卸売の3PL業務新規受託など、更なる新規3PL業務の受注拡大へ取組む。

３．2011年11月にベトナム北部のハノイに新拠点を開設予定。日本ベトナム間の国際一貫輸送の拡充やベトナム国内の物流強化へ取組む。今後の海外事業の拡大策として、タイでの拠点新設、中国の国内物流事業の拡大を計画中。

Ⅱ－６．設備投資の状況（資金ベース）

（単位：百万円）

	当第２四半期実績	当期見込
「澁澤ビル」改修・設備関連工事	903	905
「澁澤シティプレイスＡ棟・Ｂ棟、澁澤シティプレイス蛎殻町、澁澤シティプレイス永代、澁澤永代ビル」設備関連工事	48	126
港島営業所土地取得代金、設備関連工事	505	518
「ドーミー三宮」新築工事	297	602
荷役設備機器等購入	5	134
物流システム開発・改修工事	68	209
連結子会社 車両購入・建物改修等	51	105
その他設備購入・改修工事	53	81
合　　計	1,930	2,680

Ⅱ－７．配当の状況

（単位：円）

		中間配当	期末配当	年間配当	配当性向（連結）
平成23年3月期	実績	3.00	3.00	6.00	79.4%
平成24年3月期	予定	3.00			
	予想		3.50	6.50	33.6%

利益配分に関する基本方針：

当社は、当社事業の公共性をも踏まえ、当社事業の持続的成長を実現することを旨としており、そのため、長期的かつ安定的な経営基盤の確保と財務体質の強化に努めております。配当につきましても、業績および将来の見通しに配慮しながら安定的に実施することを基本としております。

また、内部留保は、事業拡大のための設備投資や借入金返済等財務基盤の強化に充てるとともに、機動的な資本政策や総合的な株主還元策のために有効活用し、企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

本日は当社の決算説明会にご出席賜り
ありがとうございました。

今後とも投資家様との対話を深め、
企業価値の向上につとめてまいりますので、
よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢、経営環境の変化等により異なる可能性があります。

ＩＲに関するお問い合わせ先：
管理本部 総合企画部
池　田　　覚
電　話 ： (03) 5646-7263
E-mail ： ikeda-satoru@shibusawa.co.jp

平成24年（2012年）3月期
第２四半期決算説明会

補　足　資　料

（業界の状況）

① 普通倉庫21社統計に見る倉庫業界（21社 月末保管残高）

② 普通倉庫21社統計に見る倉庫業界（21社 入庫高）

③ 燃料油価格の推移（軽油店頭現金価格 全国平均）

④ 東京と大阪・名古屋のビジネス地区の平均空室率の比較

⑤ 東京ビジネス地区 平均賃料（坪当たり）の変化

（当社グループの状況）

⑥ 入庫高・出庫高合計 推移表

⑦ 保管残高合計 推移表

⑧ 港湾運送取扱量 推移表

⑨ 輸出入海貨取扱量 推移表

⑩ 航空貨物 輸出屯数 推移表

⑪ 航空貨物 輸入件数 推移表

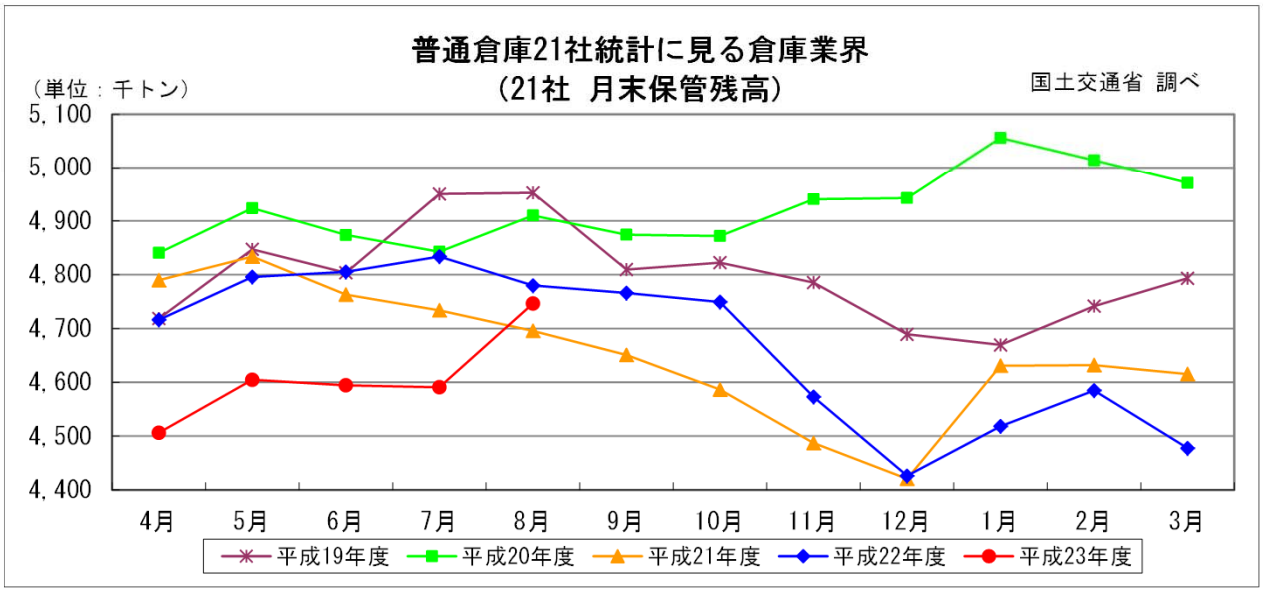
⑫ 事業セグメント別 営業収益推移表

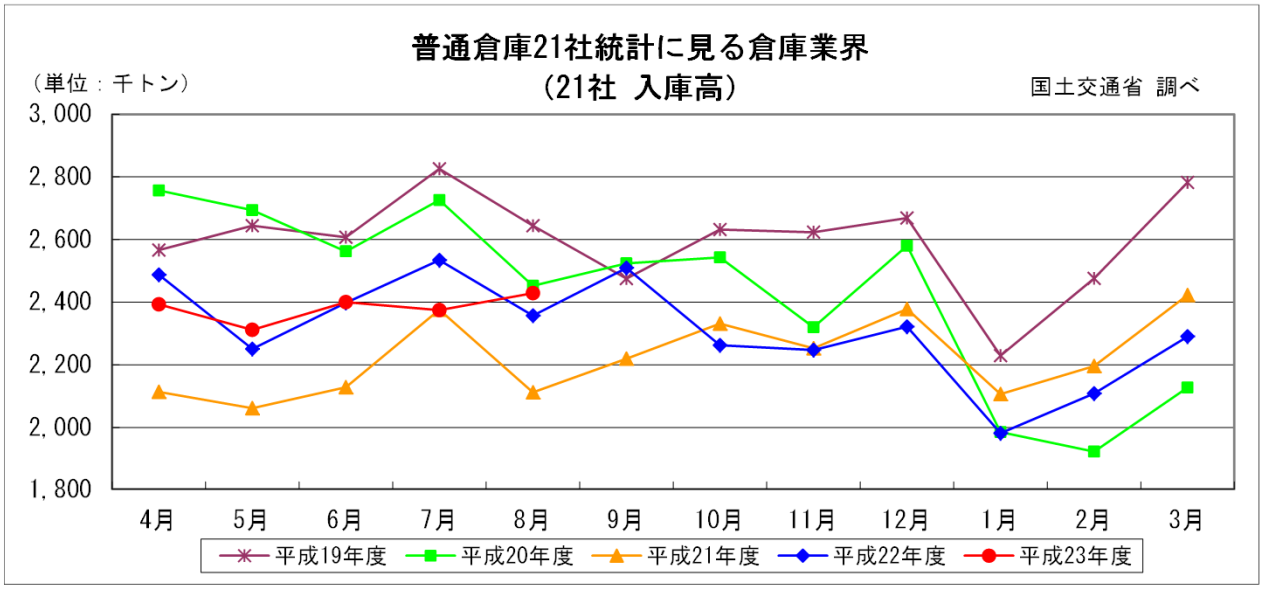
⑬ 事業セグメント別 構成比

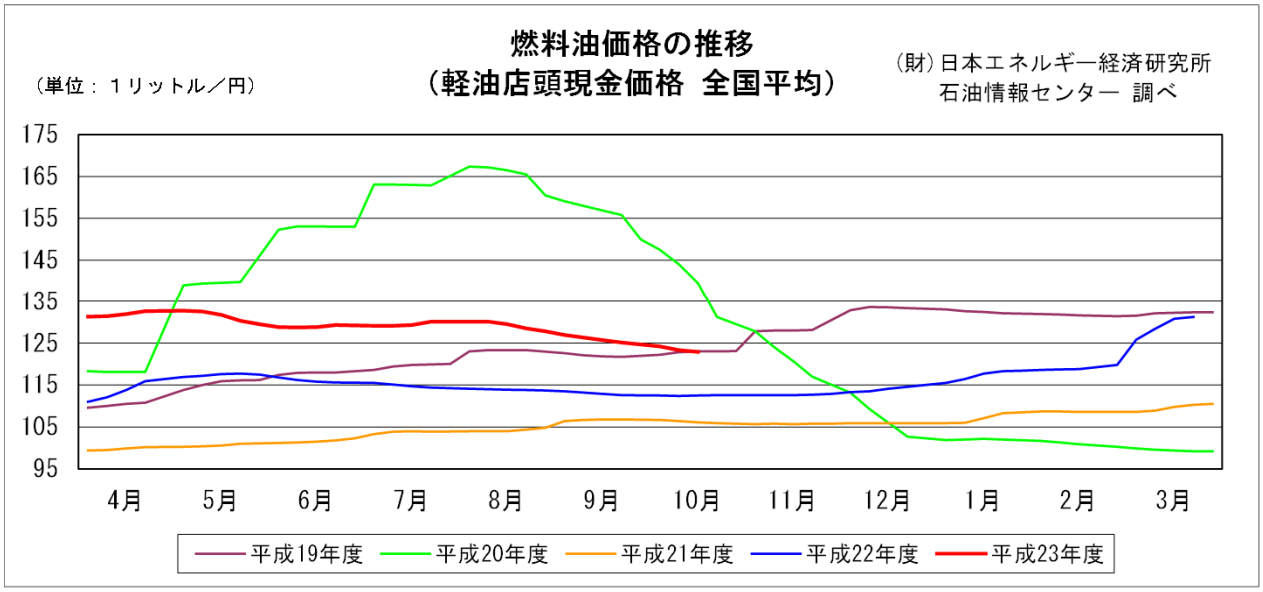
⑭ 物流事業セグメント別 営業収益推移表

澁澤倉庫株式会社

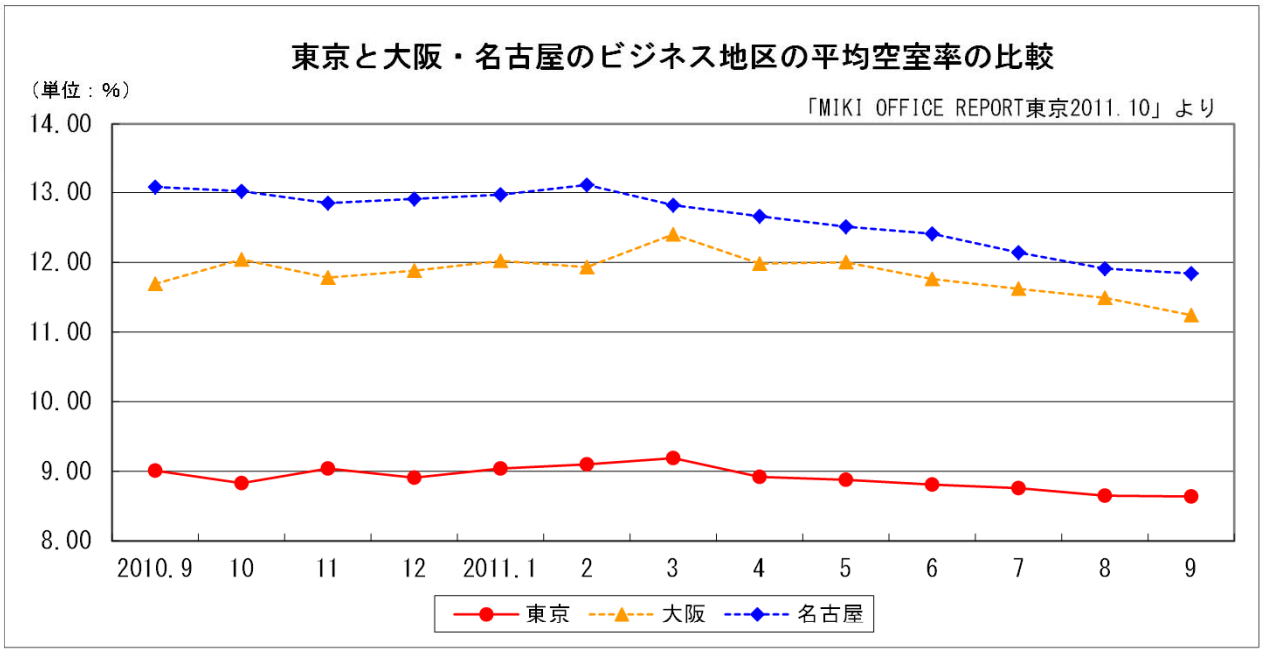
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料

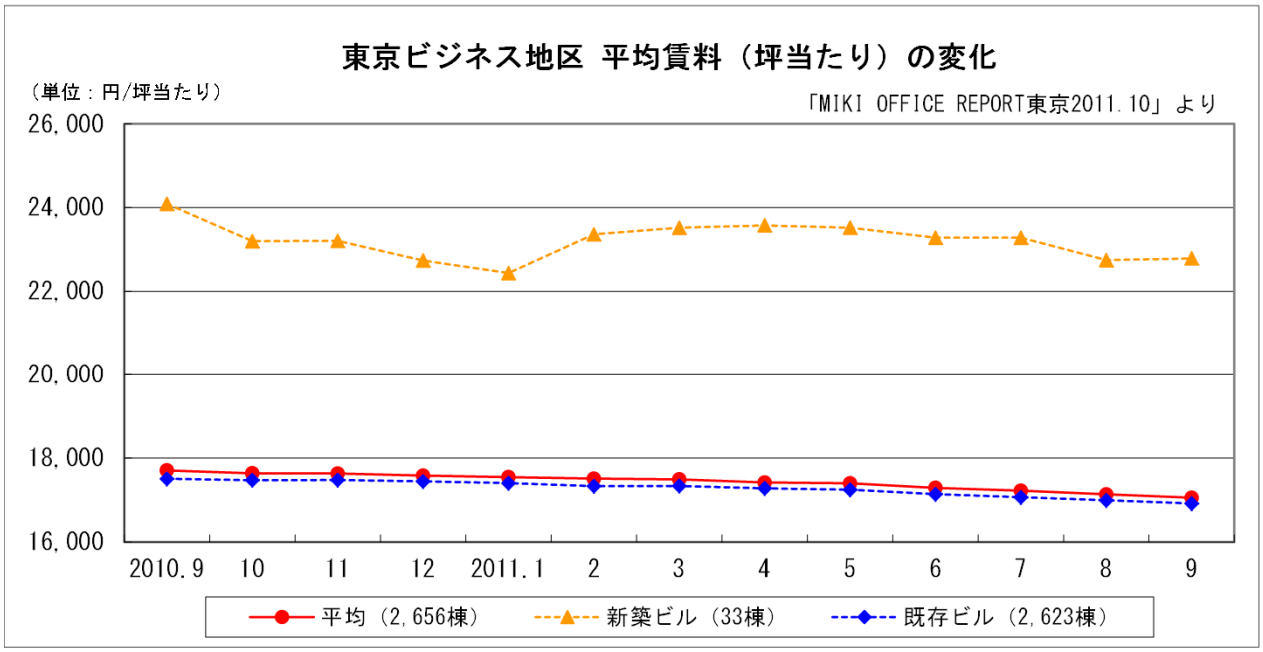




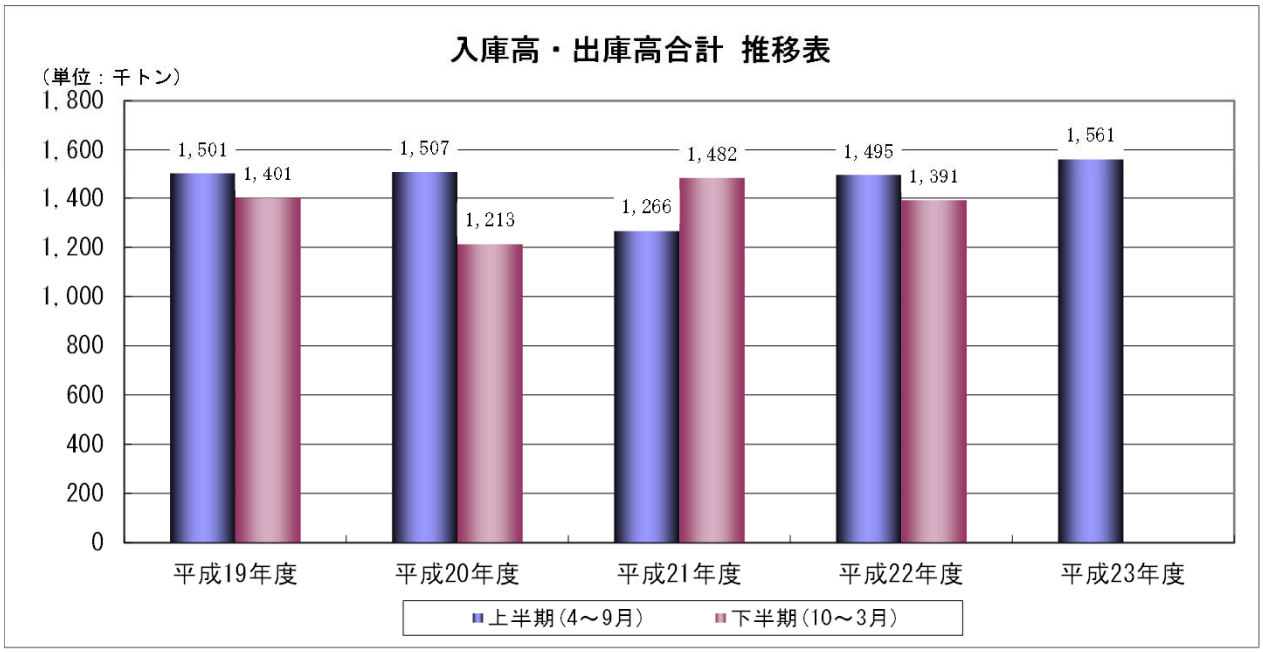


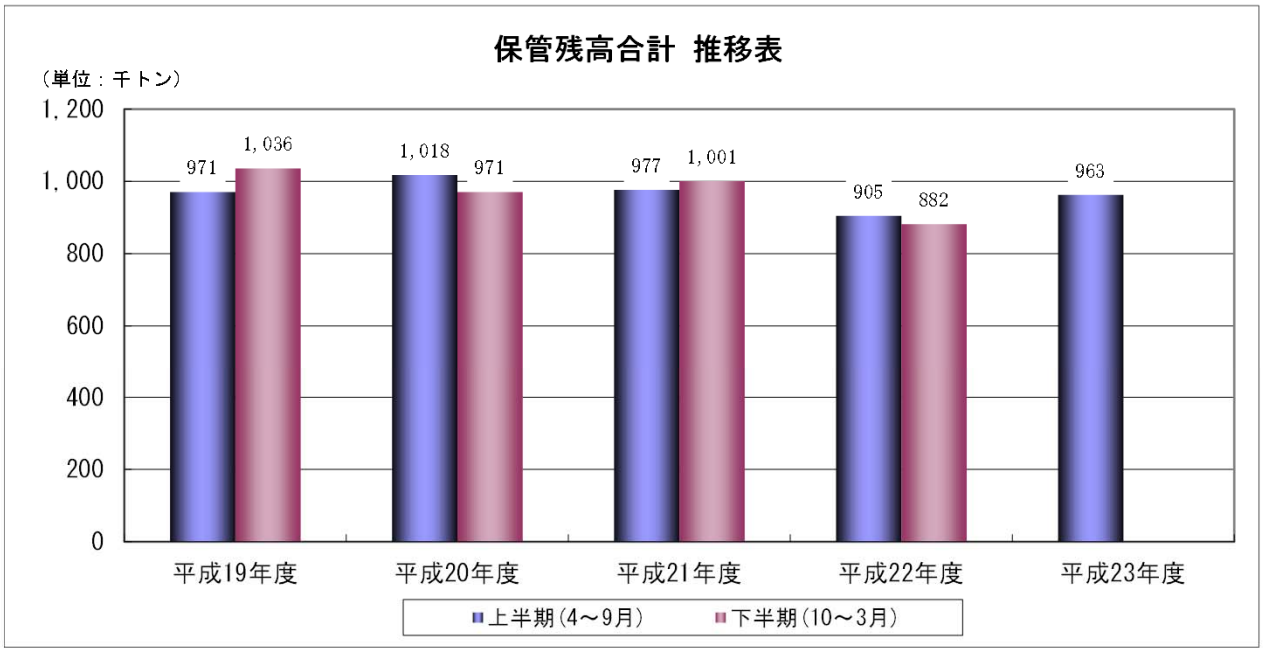
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料



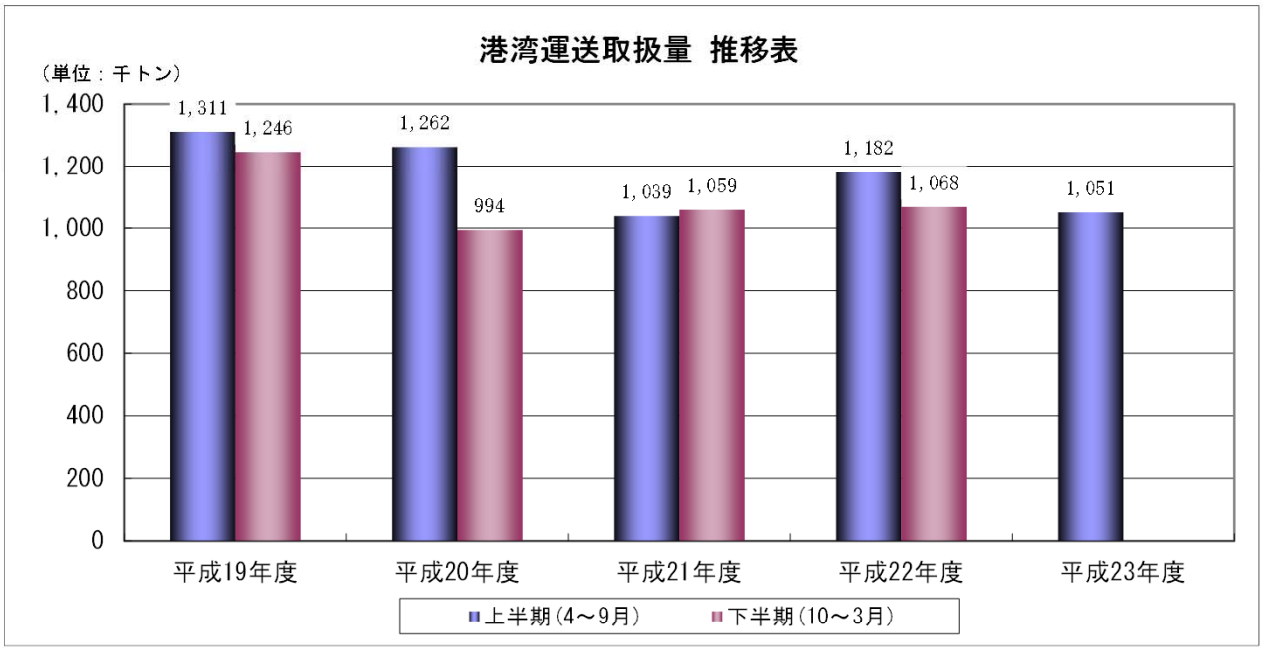


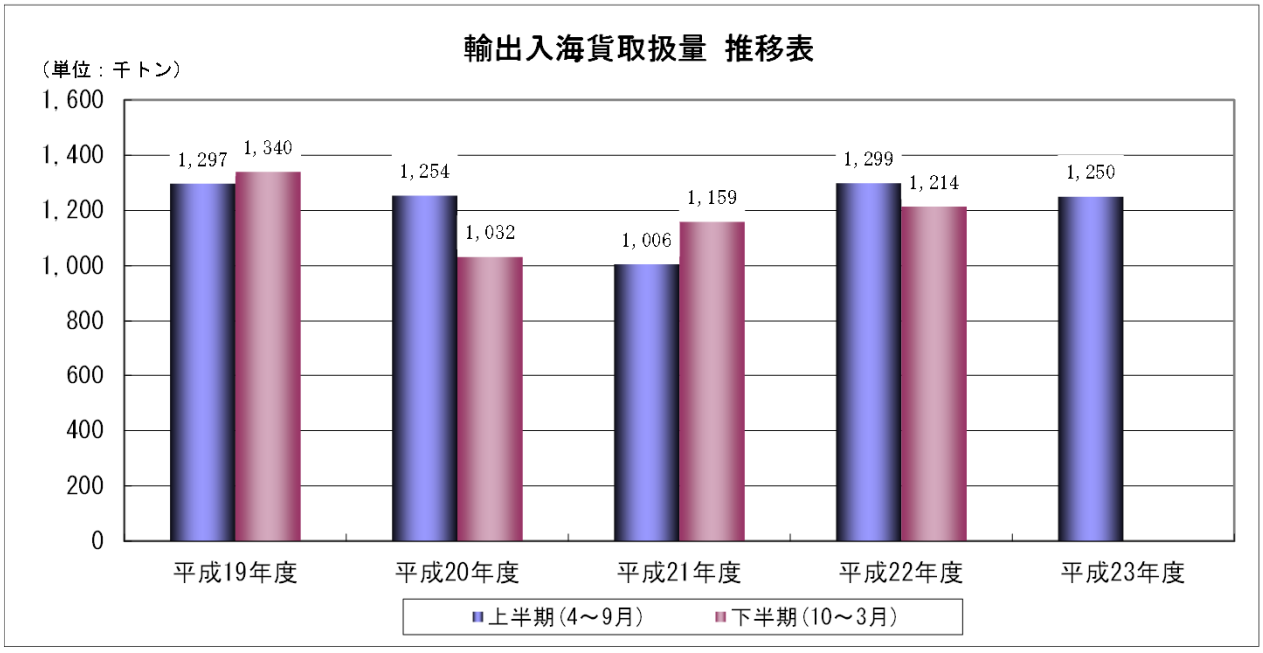
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料



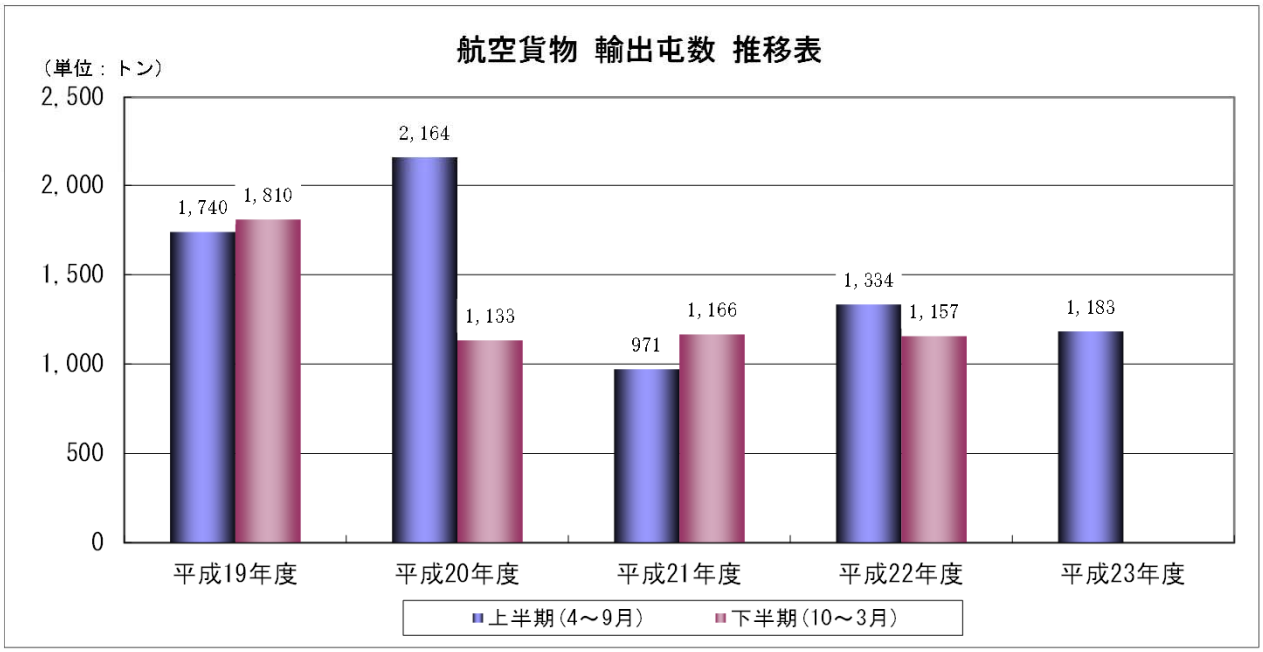


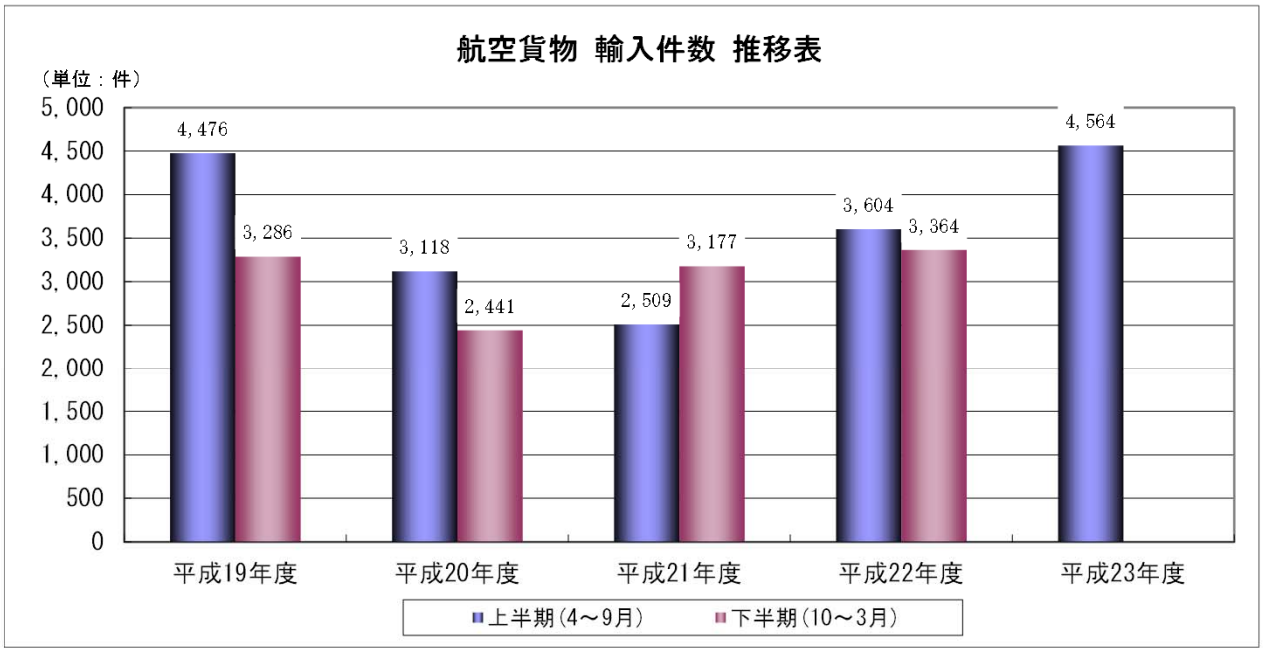
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料





平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料

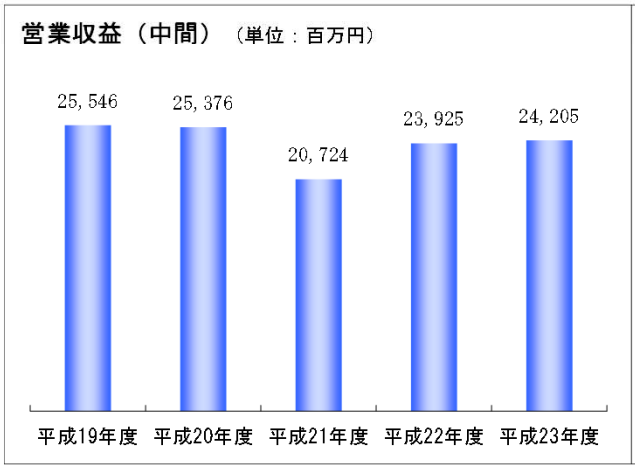




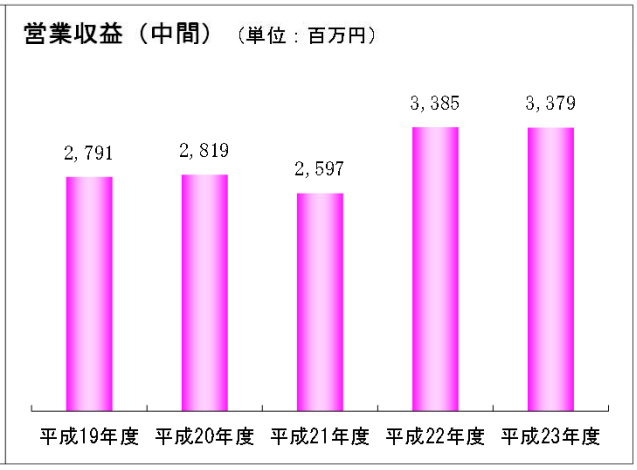
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料

【事業セグメント別 営業収益推移表】

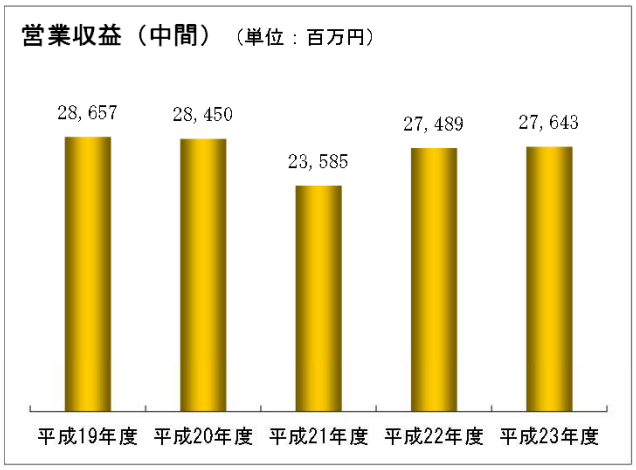
物流事業



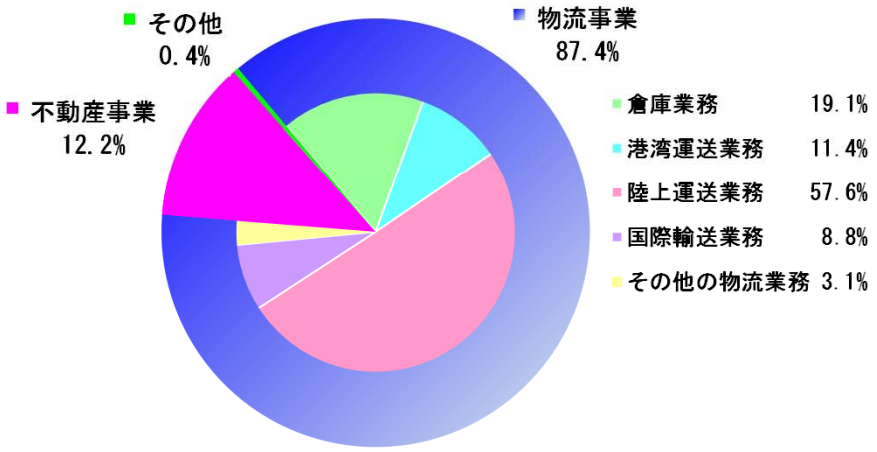
不動産事業



合計



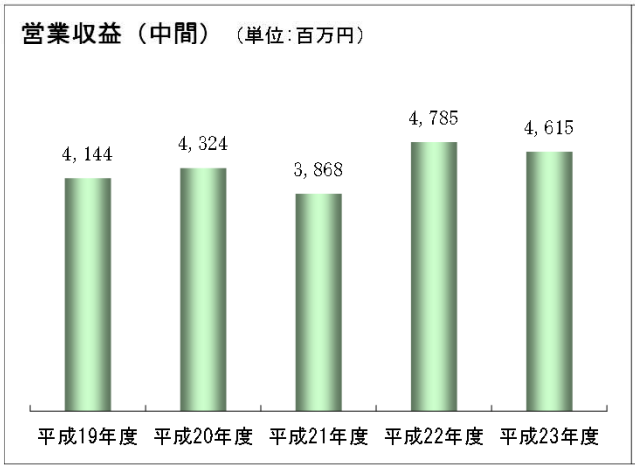
【事業セグメント別構成比】



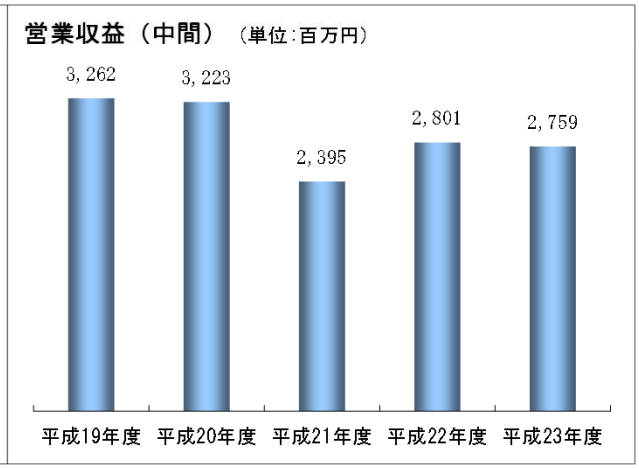
平成24年3月期第２四半期決算説明会 補足資料

【物流事業セグメント別 営業収益推移表】

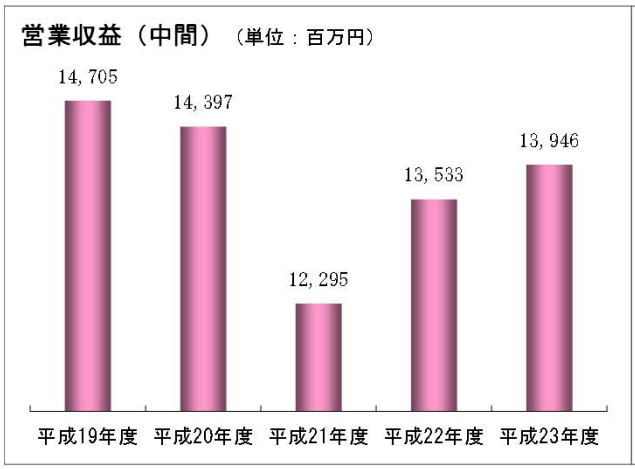
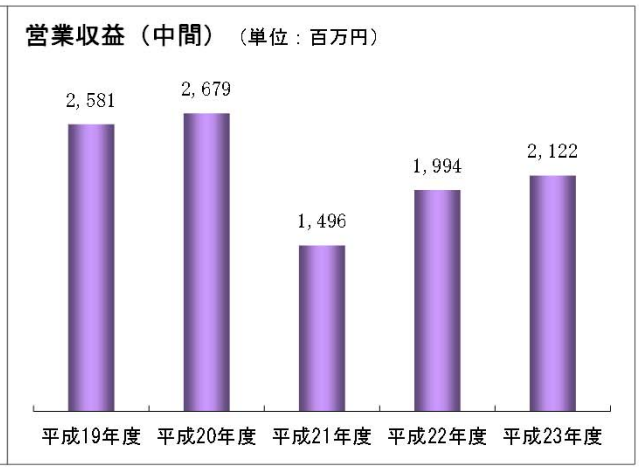
倉庫業務



港湾運送業務



陸上運送業務



国際輸送業務